

留萌市と北海道電力株式会社による 留萌海域におけるブルーカーボン事業に向けた共同実施について

留萌市と北海道電力株式会社は、「留萌海域におけるブルーカーボン事業に向けた海草（藻）培養技術開発」に関する共同研究契約を締結、ブルーカーボン推進に向けた共同試験研究を実施する

契約内容

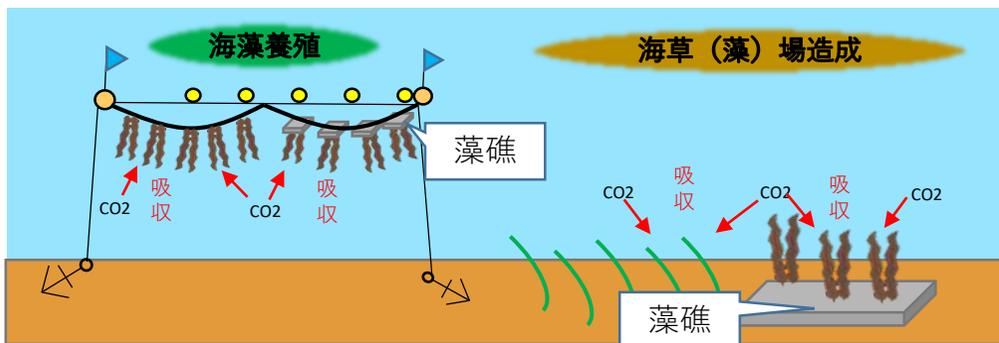
- 〈研究 題目〉 留萌海域におけるブルーカーボン事業に向けた海草（藻）培養技術開発
- 〈研究 期間〉 令和4年10月1日～令和6年3月31日
- 〈研究 内容〉
 - ①海草（藻）類の種苗生産及び養殖試験
 - ②海草（藻）基質の作成及び海草（藻）付着・成長試験
 - ③藻場のモニタリング調査
 - ④その他、ブルーカーボン削減に寄与する研究
- 〈試験実施箇所〉 現場実証試験：留萌港 研究試験：三泊蓄養施設
北海道電力株式会社総合研究所

ブルーカーボンとは
海藻（藻）やマングローブ、干潟などの
海洋生態系によって吸収・貯留された炭
素のことであり、わが国の海藻生産量の
7割を占める北海道は、ブルーカーボン
によるCO₂吸収・貯留ポテンシャルが非
常に高い地域と考えられる。

留萌市の目的

海藻養殖を活用した脱炭素社会に向けたCO₂吸収源対策及び、水産産業振興策両面での推進

〈事業イメージ〉



それぞれの目的

ほくてんの目的

発電所から発生する石炭灰や、一般的なコンクリート製と比較して製造過程のCO₂排出量を抑制する「バイオマス燃焼灰」を用いた藻礁基質を開発し、利用することによりCO₂削減を目指す



発電所での発生灰を利用した藻礁



藻礁に付着させたリシリコンブ



海上での繁茂状況

